

龍谷大学

# 学修支援・教育開発センター通信

Ryukoku University  
Learning Support ·  
Educational Development  
Center Report

2016

01



龍谷大学  
RYUKOKU UNIVERSITY

学修支援・教育開発センター | 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67  
Tel 075-645-2163 Fax 075-645-2190 <http://www.ryukoku.ac.jp/faculty/fd/index.html>  
発行日: 2016年11月 編集・発行: 龍谷大学 学修支援・教育開発センター



履修相談ブース



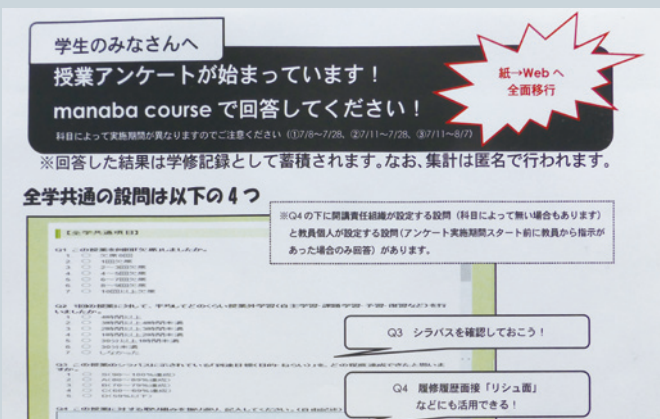
第1回学生FDサロン



第2回学生FDサロン



コモンズチューターミーティング



manaba course を活用した授業アンケート

2016, Number 01

CONTENTS

p3

十学部合同学生会主催  
「新生対象履修相談ブース」・「第1回学生FDサロン」・  
「第2回学生FDサロン」開催報告

p6

深草コモンズライティング支援  
コモンズチューター活動報告

p8

manabax 授業アンケート  
manaba course を活用した「学生による学期末の  
授業アンケート」実施報告

p10

自己応募研究プロジェクト中間報告会  
新着図書紹介

# 十学部合同学生会主催

# 新生対象履修相談ブース

## 開催報告

十学部合同学生会では、毎年度新生のオリエンテーション期間中に、深草・瀬田学舎において履修相談ブースを設置し、新生の履修手続きや講義に関する不安・疑問等を受け付けています。履修相談に当たる上回生は、新生の様々な質問に対応できるよう自身の経験のみに頼ることなく、事前に履修要項の記載内容や過年度の相談内容・反省点等を確認・共有する勉強会を開催した上で、履修相談に臨んでいます。

今年度は、4月2日(土)・3(日)に深草学舎和顔館学生コモンズ、4月4日(月)に瀬田学舎智光館学生コモンズにおいて開催し、3日間で約230人の新生が履修相談ブースを訪れてくれました。



「学生による『学び』の創造と交流の空間」をコンセプトとした学生コモンズを多くの新生に知ってもらえる良い機会にもなりました

## 十学部合同学生会

十学部合同学生会 代表  
経済学部4回生 桑原 佳那さん



十学部合同学生会は毎年度履修相談ブースを実施しています。前回の反省点として、新生を長く待たせてしまったことがあったので、今年はブース内の回転率の向上に努めました。ブース内に受付を設置することで質問を絞り、的確に対応できるようにしました。

また、より多くの新生の不安を解消できるように、広報機能を強化しました。十学部合同学生会の構成員である代議員を増員することで、今までできていなかったピラ配りを行いました。代議員の協力もあって、前年度を超える新生に利用してもらえることができました。

アンケート結果からは、利用者の半数以上が「履修の仕方がわからない」「単位について知りたい」と考えていることが分かりました。このことは来年にしっかり引き継いで対応していきたいと思います。

来年度以降も新生が安心して授業に取り組めるように、十学部合同学生会は履修相談ブースを通してできる限りサポートしていきます。

## 十学部合同学生会とは…

学生会選挙で選出された代議員で構成する学生会組織の1つで、「学生の正課環境の改善・向上」をテーマに活動しています。2012年度より学修支援・教育開発センター(当時:大学教育開発センター)と連携を図り、学生が学生目線で自らの学びについて考えることのできる機会や学生・教員・職員が一体となって学びについて考えることのできる機会の創出を目的としたサロンの開催等、学生FD活動にも積極的に取り組んでいます。



## 2016年度第1回学生FDサロン

# 「真剣龍大しゃべり場： あなたは何の為に授業を受けていますか？ ～何の為、誰の為の授業～」

学生の正課環境の改善・向上を目的に活動する十学部合同学生会と学修支援・教育開発センターとの連携も、今年度で5年目を迎えました。

今回の学生FDサロン(※)は、「あなたは何の為に授業を受けていますか？～何の為、誰の為の授業～」というテーマを設定し、6月16日(木)に深草学舎和顔館スチューデントコモンスにおいて開催しました。学生・教員・職員が5グループに分かれ、普段当たり前のように受けている又は受けてしまっているかもしれない「授業」の目的・意味等について話し合った後、その内容を参加者全員で共有・意見交換を行いました。

※十学部合同学生会が中心となり企画・立案・運営する学生主体のFDサロン

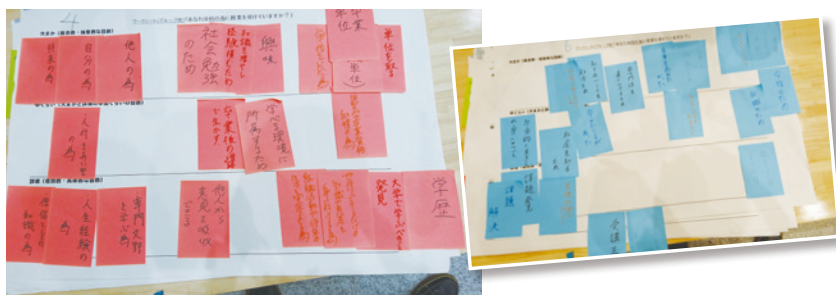
### 十学部合同学生会

経営学部執行委員長  
4回生 亀田 美沙都さん



私は、4回生になって初めて学生FDサロンに参加しました。学生FDサロンは正課活動のことについて話し合うものなので硬いイメージがありました。参加してみると、学生も教職員も自由に意見を出し合っていてイメージは覆りました。テーマが毎日受けている授業ということもあって、参加者だけでなく、参加者の友人のエピソードも聴くことができました。また、同じ問題に対しても学生目線、教職員目線では全く違った意見を聴くことができました。教職員とフランクに話し合え、一緒に解決策を導きだしていくことが楽しかったです。自分だけでは気付かなかった授業についての意見や提案も多く、とても有意義な時間になりました。FDサロンという場が設けられていることによって、普段何気なく思っている授業に関することをみんなで考え、改善していくことができます。

このような機会をより多くの学生や教職員に知ってもらい、より良い正課環境の構築に繋がっていきたいと思います。



### 参加した学生・教職員の意見

- 改めて「授業」を受ける意味について考えることができた。(学生)
- 同じテーマについて話し合っても、学部(文系・理系)や学年によって意見が異なるところがおもしろかった。(学生)
- 自分にはない様々な意見・発想に触れることができて良かった。また、人前で発言する経験ができて良かった。(学生)
- 学生の皆さんの声を直接聴くことができ、それぞれがしっかりとした考え・意見を持っていると感じることができた。(教職員)

# 「学生FDサロン」開催報告

## 第2回学生FDサロン

### 「真剣龍大しゃべり場： 授業で気になることはありませんか？」

今回の学生FDサロンは、「授業で気になることはありませんか？」というテーマを設定し、10月20日（木）に深草学舎和顔館スチューデントコモنزにおいて開催しました。

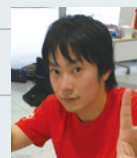
学生・教員・職員が8グループに分かれ、各々が感じている授業に関する悩みや疑問等について話し合った後、その内容を参加者全員で共有・意見交換を行いました。

普段の授業を通じて気になること（「シラバスの記載内容・方法」や「授業中の私語」等）について、学生・教職員の立場から様々な意見が出され、お互いの考えや思いを共有することのできた大変有意義なサロンでした！



#### 十学部合同学生会

十学部合同学生会 副代表  
社会学部4年生 深見 栄介さん



「真剣龍大しゃべり場！授業で気になることはありませんか？」をテーマとして、学生FDサロンを行いました。講義中の私語やスマホの操作、その他気になることを学生と教職員を交えて話し合いました。参加者の声として、「最初は正課（授業）の話は難しそうと感じたけれども、実際やってみると身近な気になることなどをみんなで話し合ったり違う立場の人の話を聞いて面白かったです。」という意見がありました。私個人としても、教職員の方の立場や他学舎・他学部の違いで学生の考えにもそれぞれ違った点などがあり、新鮮な意見を聴くことができ非常に有意義な時間を過ごせたと感じます。

大学における根幹である正課活動を学生、教職員共に多角的に改めて考える機会というものなかなか無い貴重な体験であると考えます。学生、教職員による双方向の意見交換や相互理解が深まることによって、龍谷大学は引き続き発展していく可能性を感じることができました。

#### 参加した学生・教職員の意見

- 「授業で気になること」について、学生同士で話すだけでなく教職員の方の意見も聴くことができ良かった。(学生)
- 授業に対する教員側の思いや考えを聴くことができたことがとても新鮮だった。(学生)
- 学生・教職員双方の立場から様々な意見交換をすることができ、より一層真剣に授業に向き合おうという気持ちになった。(学生)
- 学生の皆さんの生の声・素直な話を聴くことができ、とても充実した時間を過ごすことができた。(教職員)

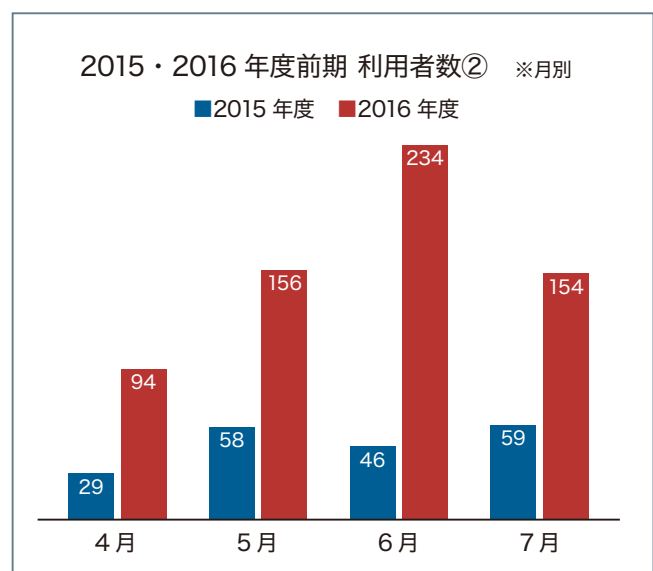
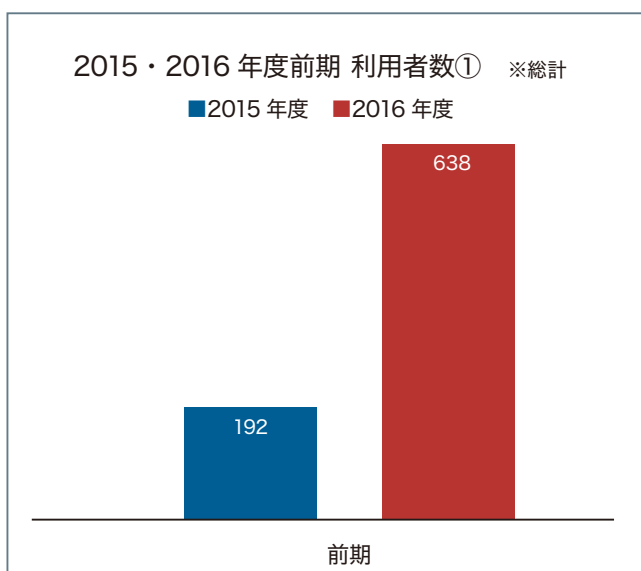
# 深草コモンズライティング支援

深草コモンズにおけるコモンズチューター（大学院生）によるライティング支援は、今年度で2年目を迎えました。取組1年目はコモンズチューターのスキルアップを目的とした各種研修・ミーティングの実施や2種類の支援ツール（「レポートの書き方チェックシート」「発表資料作成のためのチェックシート」）の作成、チューター間の即時的な情報交換を可能とする情報共有ツール（manaba courseの一部機能を活用）の導入等、試行錯誤をしながらの運営となりましたが、延べ374人（前期：192人、後期：182人）の利用があり、コモンズチューターによる支援に一定のニーズがあることを確認することができました。

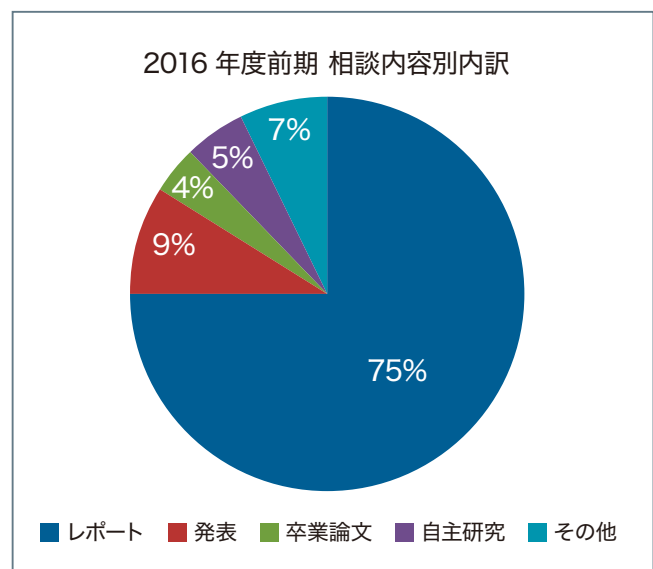
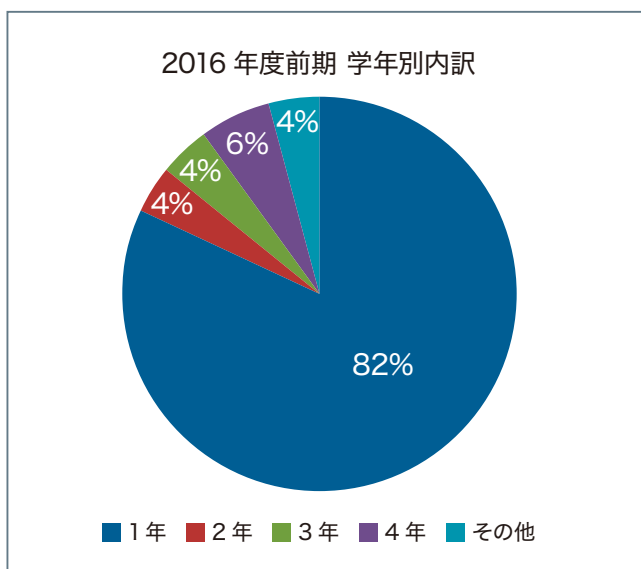
今年度も引き続きコモンズチューターの機能強化を図るとともに、新たな試みとして1日を10セッションに区分・2週間後までの事前予約を可能とした利便性の向上や、新入生オリエンテーション時・在学生成績表配付時を活用した広報活動等を取り入れることで、日々利用促進に努めています。取組1年目の実績（種まき）や新たな試みの甲斐あってか、今年度の利用者数は前期のみで延べ638人となり、昨年度から大幅な増加（対前年度同時期比332.3%）となりました。

今後もコモンズチューターのスキルアップに努め、支援方法・内容等の改善・充実を図っていきます。

## ■各年度比較データ



## ■2016年度データ



# コモンズチューター活動報告

## ■ 2016年度第1学期 コモンズチューター 研修・ミーティング実施一覧

No.	日程	内容
1	4月4日(月)	<b>コミュニケーション研修【採用時研修】</b> ・「ティーチング」と「コーチング」 ・「コモンズチューター」に求められる3つのスキル ・「相談の場のつくりかた」～ページング～ ・「相談者へのヒアリング」～訊く～ ・「相談者へのフィードバック」～承認・提案～
2	4月6日(水)	<b>レポート・論文についての学生相談とその対応方法研修【採用時研修】</b> ・レポートライティング支援の現状と課題 ・龍谷大学コモンズチューターの役割 ・レポート・論文とは何か？ ・ワークをとおしての検討 ・学生相談とライティング支援の方法 ・ライティング支援の実践
3	5月20日(金)	①2016年4月コモンズチューター利用状況確認・振り返りについて(一部2015年度の振り返りを含む) ②ミニ講座実施に向けて(テーマ出し)
4	6月3日(金)	①2016年5月コモンズチューター利用状況確認について ②ミニ講座実施に向けた外部講師による講義・グループワーク(テーマ決め等)について ・3グループに分かれ、ミニ講座を作成。 ・テーマは全グループ共通で「はじめてのレポート」とし、グループ毎に副題として、「基本構成編」「資料の探し方編」「引用編」とした。
5	6月24日(金)	ミニ講座実施に向けたグループワーク(パワーポイントの作成①)について
6	7月8日(金)	①2016年6月コモンズチューター利用状況確認について ②ミニ講座実施に向けたグループワーク(パワーポイントの作成②)について
7	7月29日(金)	2016年前期コモンズチューター利用状況確認・振り返りについて



## 成果物紹介

## レポートの作成に関する公開セッション(ミニ講座)の開発

より多くの学生にコモンズチューターを活用してもらえよう、「1対1」の対応から「1対複数」の対応を可能とするため、取組1年目の実績(相談内容・対応履歴等)を基にミーティングを複数回実施し、「はじめてのレポート」をテーマとしたミニ講座を3本(「基本構成編」「資料の探し方編」「引用編」)開発しました。

今後もコモンズチューターのさらなる充実に努めていきます!



# manaba course を活用した「学生に

「学生による学期末の授業アンケート」の実施方法については、今年度よりこれまでの紙媒体（一部Web含む）から、manaba course（2015年度に全学導入した教育支援ツール）上で実施する形へ、全面移行しました。manaba course を活用した授業アンケートの実施に当たり、多くの学生・教職員にご協力いただいた結果、2016年度第1学期の実施率<sup>※1</sup>は94.5%、回答率<sup>※2</sup>は32.2%となりました。

今後、より多くの学生から回答を得ることによって、これまで以上にその結果を教員個々の授業改善活動や学部等の組織的な教育改善活動に活用できるよう、manaba course を活用した「学生による学期末の授業アンケート」の回答・利用促進を図っていきます。

※1…回答科目(1名以上の回答があった科目)数÷対象科目数×100  
 ※2…回答者数÷受講登録者数×100

授業アンケートに回答した結果は、manaba course 上で学修記録として蓄積され、自身の学修を振り返ることができるようになりました！

## 学生向け情報 【回答方法】

1. 大学のホームページ右側下部にあるポータルサイトにログイン



2. ポータルサイトの左側上部の「授業関係」にある「manaba course」をクリック



3. ポータルサイトに入る時と同じID(ユーザー名)、パスワードを入力し、「Login」をクリック



4. マイページ上部の「大学からの課題・アンケート一覧へ」をクリック



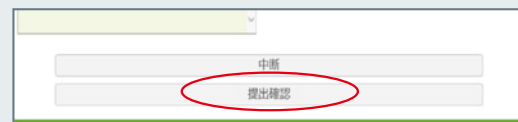
5. 一覧から、提出(回答)するコース(科目)をクリック



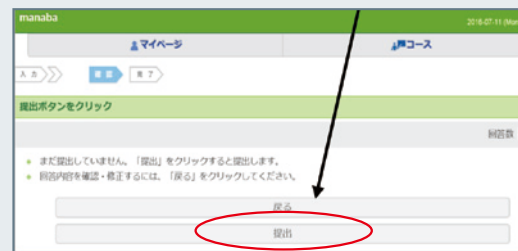
6. アンケートの内容を確認し、「スタート」をクリック



7. 質問に回答し、「提出確認」をクリック



8. 回答内容に問題がなければ、「提出」をクリックして登録完了！





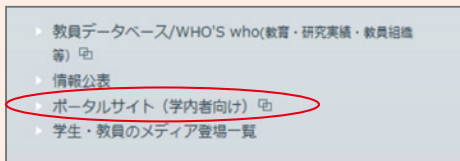
# よる学期末の授業アンケート」実施報告

## 教員向け情報

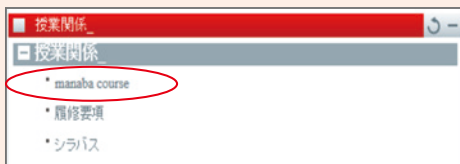
授業アンケート実施期間中でも、manaba course上で即時的に受講生の回答状況(匿名式)を確認することができるようになりました!

### 【対象科目確認方法】

1. 大学のホームページ右側下部にあるポータルサイトにログイン



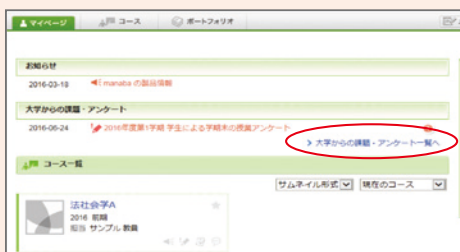
2. ポータルサイトの左側上部の「授業関係」にある「manaba course」をクリック



3. ポータルサイトに入る時と同じID(ユーザー名)、パスワードを入力し、「Login」をクリック



4. マイページ上部の「大学からの課題・アンケート一覧」をクリック



5. 授業アンケート対象科目及び実施期間を確認



### 【回答結果確認方法】

1. 左記(対象科目確認方法) 1~4に同じ
2. 回答結果を確認したいコース(科目)名称をクリック



3. 「集計シート」をクリック



### 【フィードバック機能・方法】

授業アンケート集計表(集計結果)を踏まえ、教員から受講生に対してコメントを返すことができます。

1. 左記(対象科目確認方法) 1~4に同じ
2. フィードバック(コメントを入力)したいコース(科目)名称をクリック



3. 「結果・フィードバック」の右下にある「編集」をクリック



4. 本文(コメント)を入力して「更新」をクリックすると登録完了



# 2016年度自己応募研究プロジェクト 中間報告会一覧

学修支援・教育開発センターでは、教育改革を推進する一環として、学内のグループ又は個人に対し、教育全般・授業・教材等の研究開発を奨励し、公開に対する支援を行うことを目的とした自己応募研究プロジェクト事業を実施（2016年度は8件の研究プロジェクトを採択・遂行）しています。

中間報告会は、それぞれの研究プロジェクトの遂行状況を全学に公開し、その研究成果を共有することを目的としています。詳細につきましては、開催日の約1週間前を目処に「学修支援・教育開発センター News」にてご案内しています。最終成果報告については、2017年3月～4月頃に深草・瀬田学舎においてパネル展示を行う予定ですので、是非足をお運びください。

代表者名	プロジェクトテーマ	日時	場所	中間報告テーマ
生駒 幸子 (短期大学部)	保育者養成における授業間連携の検討 — 保育実技指導の充実を目指して —	6月18日(土) 10:30～11:30 6月22日(水) 10:30～11:30	深草学舎 18日：和顔館 B202,B203教室 22日：和顔館 B106,B108教室	りゅうたん♪こどもシアター
久保田 優 (農学部)	入学時生物・化学プレテストを用いた 学部教育適合性の評価解析	11月2日(水) 15:30～16:30	瀬田学舎 9号館大会議室	入学時生物・化学プレテストを用いた 学部教育適合性の評価解析
小松 知子 (経営学部)	言語教育における評価指標の開発 — 「JEP Kyoto」の開発とその検証を通して —	11月18日(金) 15:30～17:30	深草学舎 和顔館マルチリング スタジオ (グロー バルコモンズ内)	言語教育における評価指標の開発 — 「JEP Kyoto」の開発とその検証を通 して —
八幡 耕一 (国際学部)	オープンエデュケーションリソース (MOOC) を 活用した反転型授業の実践	11月30日(水) 12:30～13:15	深草学舎 和顔館B201教室	MOOC (大規模公開オンライン講座) を 活用した反転授業 ～その課題と展望～
大西 俊弘 (理工学部)	数学学習・教育用ソフトウェア「GeoGebra」 を用いた教材開発とテキスト作成	12月7日(水) 13:35～16:00	瀬田学舎 2号館343 情報実習室	GeoGebraを用いて統計領域の 教材作成
赤田 太郎 (短期大学部)	発達と発達障がいをシームレスに理解し、子ども のこころの健康を含めた支援ができる支援者にな るためのテキストの作成	12月7日(水) 15:30～16:30	深草学舎 8号館4階 共同研究室	発達と発達障がいをシームレスに理解し、 子どものこころの健康を含めた支援がで きる支援者になるためのテキストの作成
笠井 賢紀 (社会学部)	課題解決型学習に基づく地域協働学習の開発 — コミュニティ・リーダーの育成に向けて —	12月13日(火) 13:35～15:05	瀬田学舎 6号館102教室 (調査実習室)	課題解決型学習に基づく地域協働学習 の開発 — コミュニティ・リーダーの育成に 向けて —
松本 章伸 (社会学部)	ドキュメンタリー映像における、メディア・リテ ラシー教育教材開発	12月21日(水) 11:05～12:35	瀬田学舎 8号館101教室	ドキュメンタリー映像における、メディア・ リテラシー教育教材開発

## 新 着 図 書 紹 介

### アクティブラーニング



大学改革のキーワードになっている「アクティブラーニング」。その定義や背景から、授業での指針、具体的な活用方法までを紹介する。実践で陥りがちな課題と解決策も解説。巻末にはアクティブラーニングやアイスブレイクに活用できるシート付き。大学における教授法の知識と技能を体系的に提示する全6巻シリーズ、第1回配本。

出版年月：2015年12月  
編著者：中井 俊樹  
発行所：玉川大学出版部  
価格：本体2,400円＋税  
ページ数：228ページ  
大きさ：A5  
ISBN: 978-4-472-40533-4

### 大学のIR 意思決定支援のための情報収集と分析



エビデンスに基づく意思決定と全学的合意形成のために。学生募集、教育の質保証、外部評価対応、情報公開、財務・経営戦略。大学につきつけられた喫緊の課題に対応するためには、学内の様々な情報を収集・分析する必要がある。大学改革の本丸ともいべきIRとは何か。その理論と実践を分かりやすく解説する。

出版年月：2016年4月  
編著者：小林 雅之・山田 礼子  
発行所：慶應義塾大学出版会  
価格：本体2,500円＋税  
ページ数：212ページ  
大きさ：A5  
ISBN: 978-4-7664-2279-5

### Glossary 高等教育に関する質保証関係用語集 (第4版)



「高等教育に関する質保証関係用語集」(第3版一平成23年10月刊行)をおよそ4年半ぶりに改訂。第4版では、高等教育関係者から寄せられた意見を参考にするとともに、近年の高等教育政策の議論で出現する用語や新たに導入された制度等を新規用語として加えた。また、新たに高等教育質保証における評価の手法や認証評価と国立大学法人評価の違いについても付録として収録している。

出版年月：2016年4月  
編者：独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構  
発行所：独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構  
価格：1,000円 (送料含)  
ページ数：148ページ  
大きさ：A5  
ISBN: 978-4-9904067-6-9



高大接続改革にどう向き合うか



高等学校教育と大学入試の改革の中枢で、何が起ってきたのか？ 高校教育、大学教育、そして大学入試を一体的にとらえて抜本的な改革を迫る「高大接続改革」のプランは、平成25年に突如現れ、中央教育審議会とその後継の会議の議論を巻き込みながら進んでいる。しかしながら、現在まで提案されている具体的方法論は、実現可能性を欠く非現実的な空論との評価が定着している。様々な課題を抱えた中で進む改革に高校と大学の現場からどのように取り組むべきなのか。高校、大学、そして大学入試にかかわる現場の識者の論考から、現在進行の問題を整理し対応の手がかりを提示する。

出版年月：2016年5月  
 編者：東北大学高度教養教育・学生支援機構  
 発行所：東北大学出版会  
 価格：本体2,000円＋税  
 ページ数：254ページ  
 大きさ：A5  
 ISBN: 978-4-86163-269-3

高等教育研究におけるIR



高等教育政策のなかで庶眉の課題でありながら、基本的な認識の一致がないまま進展しているIRの現状を、それぞれの領域から明らかにする。アメリカでの展開や、大学教育改革のなかでの役割を検討し、実践的な立場よりも高等教育研究との接点から広くIRを捉える。研究者のほか、大学職員や高等教育政策関係者の関心にも応える。

出版年月：2016年5月  
 編者：日本高等教育学会  
 発行所：玉川大学出版部  
 価格：本体2,900円＋税  
 ページ数：212ページ  
 大きさ：A5  
 ISBN: 978-4-472-18046-0

授業設計



学生の学習時間の短さや、学習の質の低さなどの問題解決に中心的な役割を果たす授業設計。その実践的な指針と技法をわかりやすく提供する。意欲や態度を育てる授業、複数教員での授業などの設計方法を示すほか、教材やシラバス例、評価のための基準なども多数掲載。授業経験が浅い教員から豊かな教員まで広く活用できる。

出版年月：2016年6月  
 編者：中島 英博  
 発行所：玉川大学出版部  
 価格：本体2,400円＋税  
 ページ数：224ページ  
 大きさ：A5  
 ISBN: 978-4-472-40531-0

大学のFD Q&A



各大学で義務化されているFD (Faculty Development) の効果的な進め方について、教員、職員に向け、具体的なノウハウをまとめる。実践現場のリアリティを反映した100の疑問に対し、多彩な経験をもつ執筆者らが、研究の知見を基盤に明解に回答。巻末には、実践に役立つアンケート例や、文献・ウェブサイトなどの資料付き。

出版年月：2016年6月  
 編者：佐藤 浩章・中井 俊樹・小島 佐恵子・城間 祥子・杉谷 祐美子  
 発行所：玉川大学出版部  
 価格：本体2,000円＋税  
 ページ数：212ページ  
 大きさ：A5  
 ISBN: 978-4-472-40520-4

大学の實力2017



国公立682校が回答した日本最大規模の大学・学部別調査最新版。今回は、とくに社会で求められる「書く力」の育成プログラムに注目。また、受験生・保護者に人気の「医・歯・薬・看護」の実情を徹底比較、各校の国家試験合格率やサポート体制も掲載！

出版年月：2016年9月  
 編著者：読売新聞教育ネットワーク事務局  
 発行所：中央公論新社  
 価格：本体1,650円＋税  
 ページ数：188ページ  
 大きさ：A4  
 ISBN: 978-4-12-004890-6

2017 (平成29) 年度用 大学の真の實力 情報公開BOOK



『蛭雪時代』編集部による調査集計（「情報公開」にもとづいた調査データ最新版）。全746大学、すべての大学が回答！入試方式別の入学者数、教員・公務員就職者数など重要情報が満載！データを読み取るための分析記事が充実！

出版年月：2016年9月  
 編者：旺文社  
 発行所：旺文社  
 価格：本体2,300円＋税  
 ページ数：430ページ  
 大きさ：A4  
 ISBN: 978-4-01-051008-7

図書貸し出しのご案内

学修支援・教育開発センターでは、高等教育やFDに関する図書を購入し、教職員へ貸し出しを行っておりますので、是非ご利用ください。専任教職員につきましては、学内便での貸し出しも可能です。1. お名前、2. ご所属、3. 教員/職員の別、4. 貸出希望の書名、5. 著者名を明記の上、[dche@ad.ryukoku.ac.jp](mailto:dche@ad.ryukoku.ac.jp) までお申込ください。詳細は、[http://fd.ryukoku.ac.jp/for\\_teacher/siryou/](http://fd.ryukoku.ac.jp/for_teacher/siryou/) をご参照ください。



龍谷大学  
RYUKOKU UNIVERSITY